

# 平成29年 死亡災害一覧表

香 川 労 働 局  
確 定

## 1 死亡災害

番号	死亡者数累計	業種	発生日	発生日時間帯	事故の型 年齢	発 生 状 況
1	1	その他の小売業	1月	20時台	交通事故 10歳代	被災者は、50ccの二輪バイクでピザの配達を終えて店に帰る途中、見通しの良い片側1車線の直線道路を北進していたところ、道路の左側にある飲食店の駐車場から出てきた乗用車と衝突、弾みで反対車線に投げ出され、対向してきた乗用車にはねられ死亡したものの。
2	2	土木工事業	1月	9時台	激突され 70歳代	被災者は、駐車場整備工事中において、ドラグ・ショベル(以下重機と言う)のフックで吊っていた地面を固めるセメントを入れたフレコンバッグを切るためのカッターナイフを、重機を運転していた同僚(以下、運転者という)に借りようと、重機に近づいたところ、運転者がカッターナイフを被災者に渡そうと左手をのびた際、重機の操作レバーに触れてしまい、重機が動き、フレコンバッグが被災者に激突し、病院に搬送されたが死亡したものの。
3	3	その他の建設業	1月	10時台	墜落・転落 40歳代	被災者は、地下1階の新ドック建設工事に伴うポンプ室の防水塗装工事が完了し、足場材料の片付け及び足場板上で玉掛作業に従事していた。その後、被災者が見えなくなったので探していたところ、足場板から約5.6m下の地下2階の床面に倒れているところを発見され、病院に搬送されたが死亡したものの。
4	4	製造業	2月	16時台	墜落・転落 50歳代	被災者は、不要な段ボール等を細かくするシュレッダー装置の配管が詰まったため、被災者ともう1名がスレート屋根葺きの工場の屋根に上り、詰まった個所の配管の整備を行っていたところ、被災者がスレートを踏み抜き、約8.5m下の床面に墜落し、翌日死亡したものである。
5	5	道路旅客運送業	3月	5時台	交通事故 50歳代	被災者は、車庫から中型バス2台(被災者が当日使用するバスと出庫に邪魔になるバス)を出庫させ、車庫付近の道路に停車させた。バス会社代表者も自分が使用するバスを出庫させ、一旦、道路に停車させた。被災者は、出庫に邪魔になったバスの状況を確認するため、代表者が、停車させたバスの反対車線の道路上面にて、代表者と会話中、道路を直進してきた軽乗用車にはねられ死亡したものの。
6	6	道路貨物運送業	3月	16時台	その他 40歳代	道路をトラックで走行中、交差点付近にて意識朦朧となり、道路左側歩道を走行し、道路標識を破損させて停車。救急車で病院に搬送されたが急性心筋梗塞にて同日死亡したものの。
7	7	道路貨物運送業	6月	3時台	交通事故 50歳代	被災者は、トラックで高速道路を走行中、乗用車との接触事故を発生させた為、トラックを降車し高速道路上で、事故の相手方の怪我の有無の確認、2次災害防止措置を行っていたところ、後続より走行してきたトラックにはねられ死亡したものの。
8	8	建築工事業	7月	14時台	高温・低温の物との接触 40歳代	被災者は、現場内にて不要となった電柱を抜き、持ち帰る作業を事業主と2名で午前中から行っていた。午後2時前に作業が終了し、事業主が電柱を運搬車に乗せて現場を先に出発した。その後、被災者も建柱車で現場を出発したが、現場近隣の公道の溝に建柱車の左後輪を脱輪させてしまい、一人で脱輪復旧を試みたが復旧出来ず、運転席においてぐったりしているところを発見され、搬送先の病院にて死亡したものの。
9	9	警備業	8月	0時台	交通事故 50歳代	被災者は、県道上り車線(片側2車線)の中央側車線に立ち、一般車を左側車線に誘導していたところ、中央側車線を走行してきた乗用車の運転手が交通誘導に気付かず、そのまま直進したため、被災者は乗用車にはねられ死亡したものの。
10	10	印刷業	9月	3時台	その他 30歳代	自宅にて睡眠中にくも膜下出血を発症し、救急搬送で病院に搬送されたが、同日死亡したものの。
11	11	新聞販売業	9月	4時台	交通事故 70歳代	被災者は、50ccバイクを運転し新聞配達中、拡幅中の主要道路を東から西へ横切っていたところ、南から北へ直進してきた乗用車と出会い頭に衝突し、病院に運ばれたが約2時間後に死亡したものの。
12	12	道路貨物運送業	11月	3時台	交通事故 60歳代	被災者は、トラックを運転し荷主先で積荷を降した後、空荷で国道を通過して帰社中、道が進行方向右へカーブし、直進すると県道に入る二股道において、道を誤って直進したため、300m程先で突き当たり、県道が左へカーブしていたが曲がり切れず、運転するトラックごと岸壁から海中へ転落し溺死したものの。
13	13	警備業	12月	7時台	交通事故 50歳代	被災者は、高速道路上において、同僚と2人で道路の舗装、補修工事の準備のため作業を行っていたところ、走行中の大型トラックが路側帯に停車していた作業車2台に衝突し、近くにいた被災者らもはねられ、被災者は頭部を強打し搬送先の病院にて死亡したものの。同僚は軽傷であった。

番号6、10については、業務上疾病として認定されたもの。

## 2 死亡災害の分析

	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
29年	死亡者数	3	1	2	0	0	1	1	1	2	0	1	1
	累計	3	4	6	6	6	7	8	9	11	11	12	13
28年	死亡者数	1	0	1	0	0	0	1	0	2	1	0	0
	累計	1	1	2	2	2	2	3	3	5	6	6	6

事故の型別		業種別		年齢別		起因物別	
墜落	2	製造業	2	～19歳	1	掘削用機械	1
激突され	1	土木工事業	1	20～29歳	0	トラック	3
高温・低温の物との接触	1	建築工事業	1	30～39歳	1	乗用車、バス、バイク	4
交通事故	7	その他の建設業	1	40～49歳	3	屋根	1
その他	2	道路旅客運送業	1	50～59歳	5	足場	1
合計	13	道路貨物運送業	3	60歳以上	3	高温・低温環境	1
		小売業	2	合計	13	起因物なし	2
		その他の事業	2			合計	13
		合計	13				